



ひんさんそすいかい 貧酸素水塊

とくに夏は伊勢湾の生き物にとってつらい季節です。

いま「伊勢湾」で起こっている大きな環境問題のひとつが「貧酸素水塊」です。貧酸素水塊とは、酸素の量が少ない海水の塊のことです。これが風などの影響で海面へあがってくると、ほとんどの生き物は苦しくて、息ができません。

海の中では、私たちの生活排水などに含まれる栄養が増えすぎて、海の生き物にとって暮らしにくい環境になってきていることが問題になっています。

生活排水が「伊勢湾」に与える影響

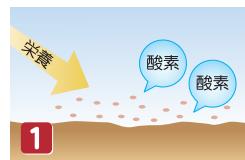
私たちの家庭から出す水に栄養が多くなると、川や海、そこで暮らす生き物たちに大きな影響を与えます。例えば、台所から排出された栄養の多すぎる水を再び、魚が暮らせるくらいの水にするには、どれくらいの量の水が必要でしょうか？

(風呂桶300リットルとして)	
お米のとき汁(2リットル)	→ 風呂桶4杯分
天ぷら油(500cc)	→ 風呂桶330杯分

元のきれいな水に戻すことは大変なんだ！

私たちが海へ流す栄養は多すぎても少なすぎても、海の循環バランスを狂わせてしまうことになります。陸から流れる栄養と海で暮らす生き物は微妙なバランスで成り立っているのです。

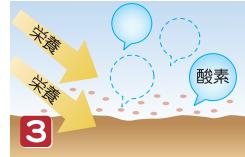
貧酸素水塊が発生する原因



海底にいるバクテリアは、底泥(ヘドロ)中の栄養を分解すると同時に酸素を使います。



海水中の栄養は、陸から流れる生活排水などに含まれています。伊勢湾周辺に多くの人が暮らしていることで海に流れる栄養が多くなっています。



海中に栄養が増えすぎると、それを使う植物プランクトンが大量発生します。やがて大量の植物プランクトンが死んで海底に沈むと、バクテリアは植物プランクトンの死骸を分解するときに酸素を使い果たしてしまいます。



海底で発生した貧酸素水塊が風によって海面までわきあがってくことで魚などに被害が出ます。

出典：三重県農水商工部 水産資源室「みえのうみ」

汚染の発生場所と経路				海への影響					生きものへの影響	
工業生産から	家庭都市下水から	水質の悪化	藻場の減少	干潟への蓄積	赤潮の発生	港底等への蓄積	魚たちへの害	貝類への害	生物への影響	
生活排水		●: 非常に大きい	●: 大きい	●: 少ない	●: ごくわずか	●: なし	●: なし	●: なし	●: なし	●: なし
農薬		●: 非常に大きい	●: 大きい	●: 少ない	●: ごくわずか	●: なし	●: なし	●: なし	●: なし	●: なし
洗剤		●: 非常に大きい	●: 大きい	●: 少ない	●: ごくわずか	●: なし	●: なし	●: なし	●: なし	●: なし
固形廃棄物		●: 非常に大きい	●: 大きい	●: 少ない	●: ごくわずか	●: なし	●: なし	●: なし	●: なし	●: なし

※洗剤 合成洗剤使用による ABS、LAS 海への流入／窒素やリンの海への流入による富栄養化

